

地域牽引企業創出事業認定

株式会社 エイビス

- 所在地：大分市
- 代表者：代表取締役 吉武 俊一
- 従業員数：44名
- 創業：平成9年（16期）
- 売上高：6.8億円※前年比129%
- 今期予想：7.4億円※前年比108%

○事業内容：情報サービス（システム開発・システム導入全般）
【水質等環境検査の分析データ処理に特化した優れた業務効率向上を支援するソフトウェア】

※分析結果のデータ入力から、加工、法基準妥当性チェック、データ蓄積、分析結果報告書発行を、検査機関のニーズに合わせた形でサポートするシステム。水質、大気、作業環境（工場内粉塵等）、簡易専用水道（高架水槽）、食品（残留農薬等）、ダイオキシンなど各分析に対応。

主な顧客：千葉県薬剤師会分析センター、日鐵住金環境、再春館製薬等

【成長戦略】

- テーマ「日本全国の環境検査システムの導入シェア50%超 ダントツNo.1を目指す」 ※全国の環境検査、食品検査に係る機関への導入目標
→600機関/約1200機関
(注)一般社団法人日本環境測定分析協会会員数等から算出
- 定量目標：5年後までに売上高11億円達成 従業員数80名
 - 成長の方向性
 - ①新「環境検査システム」にリニューアルし、顧客利便性を強化
 - ②分析機器メーカーとの提携で、海外市場（中国、韓国）も視野に入れ、新規顧客獲得を図る
 - ③主導的かつ顧客に提案ができるエンジニアの育成

【競争優位性】

- 環境検査システム専門の開発・営業チームを備え、分析業務の専門知識を有し、顧客の信頼度が高い(競合他社は専門チームを持たない)
 - システム開発における顧客ニーズへの柔軟対応とリーズナブルな価格提案力
- ※一連の書類作成、チェック業務の効率化(1~2名分)

環境検査システムは42都道府県の検査機関へ導入されており、その導入シェアは約25%

目標：50%

